

会議名	令和2年度第2回岡崎市図書館協議会 会議録
日時	令和3年3月1日（月）（※書面意見書期限）
会場	－（書面による）
書面意見書提出者	柴田委員、大西委員、平岩委員、鈴木委員、江良委員、山田委員、浦部委員、荻野委員、加藤委員
<p>1 議題</p> <p>(1) 令和2年度事業経過報告</p> <p>(2) 第3次岡崎市生涯学習推進計画について</p> <p>(3) その他</p> <p>2 議題及び報告に関する意見</p> <p>(1) 令和2年度事業経過報告</p> <p>委員1 「ビジネス支援サービスの推進」にあるパスファインダーの成果物ができたら、拝見したいです。</p> <p>図書館 ビジネス支援用のパスファインダーが完成しましたので、委員の皆様へ送付します。送付するパスファインダーは、図書館ホームページでも公開しています。今後も施設特性を活かし、ビジネス支援サービスの充実を図ってまいります。</p> <p>委員4 自主財源確保のためのリサイクル本バザーは、今後も継続を希望します。</p> <p>委員6 読書通帳利用対象者の拡大、リサイクル本バザー、本の福袋などどれもよい取り組みだと思いました。 バザーで収益をあげるのもよいことだと思いますが、市内の小中学校や保育園、幼稚園への寄附などはないのでしょうか。</p> <p>図書館 現在、図書館で不用となり除籍したが、まだ活用できる図書をリサイクル本として処理をしています。絵本や児童書については市民病院、保健所、児童育成センター、放課後子ども教室、民間児童クラブ、子育て支援センター、子ども発達支援センターなどに優先的に提供をしています。市内小中学校へは、額田図書館移転の際にリサイクル図書配布会を実施しましたが、基本的に古い本であるため、あまり需要がありませんでした。今後もリサイクル本の有効活用について、他の自治体などを参考に検討して参りたいと思います。</p> <p>委員7 コロナ禍の影響で講座事業の多くが中止となりましたが、市民からの反響、意見はどのようなものがありましたか。</p> <p>図書館 催事の中止について、大半のかたが仕方ないという感じを受けてい</p>	

たように思います。特筆するような反響や意見は特にありませんでした。

委員 8 講座事業がコロナ禍でほとんど中止である。読み聞かせやブックスタート事業は、可能な限り実施されたことはよいことだと思います。ブックスタート事業等は、小児科開業医等との連携等は無理でしょうか。

小児科医の多くの方は、子育て相談等へのアドバイスもされています。ブックスタートは、子育てとも深い関わりがあるのです。

図書館 図書館として小児科との連携予定はありませんが、ブックスタートは、健康増進課の1歳6か月児健康診査や、家庭児童課の赤ちゃん訪問と連携して取り組んでいます。配付物として子育て支援センターの情報誌を同封し、また子育てをする保護者に寄り添うことができるようにスタッフも心掛けています。

委員 4 今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となってしまったが、「子どもWikipediaタウン」は、今後もより大きく深く展開させてほしいと思います。

委員 5 多くの事業が中止となり大変だったと思います。次年度の実施を期待しています。

委員 9 バリアフリー資料コーナーの設置、リサイクル本バザー実施など新規の事業に積極的に取り組んでいることを高く評価したいと思います。

多くの事業を中止せざるを得なくなったことは残念ですが致し方ないでしょう。

委員 6 あいち電子申請システムによる事前予約で（試験期間中の図書館閲覧席を待つ学生の）行列を回避できたのはよいことだと思います。でも、この事業経過報告でこういう事業があったのかと知り、関係各所へは周知されていたのだろうかと思いました。

図書館 閲覧席の自習利用に係る事前予約制度については、元々は1学期の期末試験を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため館内閲覧席の自習利用を9月末まで禁止しました。その後、11月末に実施できるよう準備を進めましたが、初めての試みだったこともあり、事務運用が固まるまでに思ったより時間と手間がかかり、市内各高校への通知が運用開始の直前になりました。報道発表により、周知を図りましたが、今回のことをふまえて改善を行い、今後の運用に活かしていきたいと考えています。また周辺中学校への周知も検討

していきます。

(2) 第3次岡崎市生涯学習推進計画について

委員1 中日新聞に「まちの図書館が消える」という社説が掲載されました。常滑市の例をあげ、これから人口減少時代を迎え、全ての自治体で、財政事情により、同様のことが起こると警鐘を鳴らしています。本市に於いても、これまで以上に市民からも行政からも図書館がより必要不可欠な存在となることが求められていると感じます。

素案7ページに、平成20年のりぶらオープンの経緯についてごく簡単に触れられていますが、これは、昭和46年から52年にかけて隣接地で行われた市街地再開発事業で生まれた商業施設がその後の郊外化、空洞化したことにより衰退し、岡崎市が中心市街地活性化の強力な柱として図書館を核とした複合施設をつくったと理解しています。また現在は、QURUWA戦略、中心市街地内の公共施設を結ぶ開発構想、その中でもりぶらを重要な施設と位置づけているようです。こうした役割を担っていることを今一度、明確にしておくべきだと思います。

図書館 図書館交流プラザりぶらは、中心市街地再活性化のため、岡崎城下町の歴史を継承しつつ、にぎわいと魅力のあるまちづくりを目指す生涯学習施設として構想されました。第3次生涯学習推進計画においても、中央図書館を生涯学習の情報拠点として施設の核と位置づけ、学びで得た知識や技能をもとに市民活動へ繋げる活躍の循環を図るなど、活力ある地域づくりを目指していくこととしています。

委員4 図書館分館（額田図書館）、地域図書館での専任スタッフの配置、資料の充実といった予算、人員配置の推進をしてほしいです。

図書館 図書館の新たな役割として地域支援があり、分館（額田図書館）、地域図書室の機能強化を重点施策の一つと取り組んでいきたいと考えています。

委員5 電子図書貸出サービスとは、オンデマンドを前提とするものでしょうか。

現在でも論文検索などができる国のシステムがありますが、同様に外部からのアクセスで、検索者が自由に書籍を検索、ダウンロード、閲覧できる電子図書館をイメージでしょうか。その場合、岡崎市地域図書館と立ち位置を明確にしないと、存在意義をなくしてしまいます。もし電子図書館を推進するなら、その柱は岡崎市の歴史・文化に根ざした書籍を電子化することと平行して行っていただきたいと思います。

委員 6 電子図書館の推進は、これからの時代、必要な事業だと思うので、重点的に取り組んでもらえればと思います。その際は、私も含めたパソコン等の機器に疎い高齢世代にも分かりやすい操作方法の周知をお願いしたいです。

図書館 電子図書館サービスについては独自にシステムを構築するのではなく、既存の電子図書館サービスの導入を導入済の他図書館での運用状況等を調査しながら検討してまいります。

来館せずとも利用できることが電子書籍の最大のメリットではありますが、インターネット環境とパソコンやスマートフォンなどの通信機器が必須であることから、敷居が高い、難しそうと思われる利用者の方も見えると思います。分かりやすい利用案内なども検討課題の一つとして認識しています。

その上で、こうしたサービスの利用が難しい層も想定されること、紙の書籍と別に購入する必要があることや提供書籍数も限られることから、図書館や地域図書室の役割はこれまで通り地域の重要な知の拠点と考えております。

また、導入の際は図書館で作成したデジタル化資料についても一元して検索・活用できるようにいたします。

委員 7 図書館に関する4つの方針は全て納得できるものだと思います。電子図書館推進の一環として、郷土資料のデジタルアーカイブ化を進めることは可能ですか。

生涯学習者の中には、自分や家の歴史、自分のルーツがある地域について調べる方が一定数いらっしゃいます。また、最近是自己史執筆がブームだと記事で読んだことがあります。岡崎市立図書館の郷土資料にどのようなものがあるか、どの地域に住んでいても調べることができることは、大きなメリットがあるように思います。今後、検討いただけるとありがたいです。

図書館 郷土資料については順次デジタルアーカイブ化を行っており、3月1日現在で1,198件の資料を図書館ホームページ上で公開しております。今後も所蔵資料のデジタル化を継続して参ります。

委員 1 生涯学習を行う目的で最も高いのは、「健康の保持、増進、体力づくり」とあります。関連する庁内情報の収集にとどまらず、げんき館や中央総合公園、病院の待合室でみかける医師会の健康教育講座、地域包括や市内の大学などの市民が参加できる健康講座情報が、りぶらで入手できるようにすることも、アンケートの（市民の）期待に応える一つの方策かなと思います。

委員 6 問26の3つのサービス（中央図書館の本を最寄りの地域図書室等に取寄せできる、図書館のホームページから本の検索・予約ができる、図書館にない本を購入依頼できる（リクエスト））をぜひ様々な方法で周知してほしい。近くの分館（額田図書館）又は地域図書室で検索、貸出し、返却等ができる大変便利だと思います。雪深いフィンランドでは、家まで希望した本が届くシステムが構築されている。

委員 8 新型コロナウイルスの影響で、子育て世代にもフィルターバブル状態になる方もいる。情報が偏ってしまい、思い込みで発言したり、行動してしまうこともみられる。図書館でできることは限られていると思うが、情報発信の工夫がまだまだ足りないと感じている。

本を読む、図書館を利用する年齢が50代から70代の年齢層が多いというのは想定内でした。若い方々はスマホで読書をするのです。フィルターバブル状態です。

得たい知識を本から得たいと思う時、若い世代の人は、スマホ検索し、内容、価格等を調べ、アマゾンでインターネットを使い注文する。時間がある時は、本屋やブックオフで探す。読みたい本イコール手元に置いておきたい本であり、借りて読むという発想自体減ってきているように感じます。

図書館を利用する回数が、年に1～2回程度、図書館のサービス自体について知らない人が、半分以上という調査結果からも利用者の求めるニーズが変わりつつあるのではと感じます。

アンケート結果にあったように、静かに読書や学習ができる環境が充実していることを求める人が多いということは、図書館という場所が非日常の空間でゆったりした雰囲気味わえ、心のいやしの場になることを求められているように感じます。一方であるテレビニュースか新聞によると安城市の図書館の様子は、飲食、雑談が好評。

図書館 第3次生涯学習推進計画において、中央図書館のみならず、図書館全体の計画が含まれています。平成20年度のりぶら開館から13年目となり、図書館がこれからの時代のニーズ、技術に即応した図書館の施策を推進する上で提言を参考に事業運営を進めてまいります。

委員 9 重点施策4点は、当を得たものであり、計画に基づき着実に推進していただきたいと思います。

市民意識調査と中央館、分館（額田図書館）、地域図書室の利用動向を合わせて分析し、今後のサービスの計画に役立てて欲しいと思います。

委員 2 (公共施設休館の決定は、) 各自治体の判断によるため、図書館の判断だけで実施することができないことはわかっているが、コロナ禍の中においても図書館における貸し出し業務に限定すれば行うことができるのではないかと感じます(自習室の使用などは不可とすればよい。他の市町の図書館は、コロナ感染防止対策をしながら開館しているのです。)

委員 7 1月18日～2月7日に再び図書館が休館となったことは、市の方針として仕方がないことだと理解していても、一市民としてとても残念でした。ステイホームの今だからこそ、本に対するニーズが大いにあり、図書館がその存在を訴える大きなチャンスだと思います。岡崎市立図書館で一時期、本の予約すらできなかったことは、本当に不便でした。現在までのところ、図書館でクラスターが発生したという話を聞きません。これは図書館職員の方々の努力と適切な対応の結果だと思います。非常事態宣言下でも休館することなく、感染対策を徹底して一部のサービスだけでも提供することはできないものではないでしょうか。

委員 9 今回の緊急事態宣言では、県内の公共図書館で休館としたところは数少ないようです。図書館の社会的役割と感染リスクを鑑みると、この休館措置が妥当であったのか多少の疑問を感じます。図書館内でどのような議論が行われたうえでの休館だったのでしょうか。

図書館 今年の1月から2月にかけての臨時休館は、市危機管理対策本部会議で示された岡崎市全体で新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全ての公共施設を休館する基本方針に沿って臨時休館としました。

委員 9 今回の休館でも電話・インターネット予約(新規分)とその引渡しは行われたのでしょうか。もし行われなかったとするならば、その理由を教えてください。

図書館 予約受付済み資料で準備が整ったものについては、図書館エリアに設置した臨時窓口にて貸出をしました。

臨時休館中の新規分の予約資料受付は、緊急事態宣言に伴い、感染リスクを減らすため、行いませんでした。

今後、同様な事態になった場合、緊急事態宣言発令中の状況や感染状況の推移によりますが、十分な感染予防対策を講じた上で図書館として提供できるサービスを検討したいと考えております。

委員 5 コロナ禍により、図書館が休館などになり、(学生の自習には提供していたと聞きました)勉強の場を提供するだけの機能をアピール

したように思えます。残念に思いました。

委員 9 休館措置にもかかわらず学習の場の提供が行われていますが、感染リスクを考慮するならば、一定の場所に多数が集まり、長時間留まる方がより危険であると考えられます。図書館のより基礎的な業務である資料・情報の提供を休止している状況で、よりリスクの高い学習の場の提供を行うというのは疑問を感じます。

図書館 高校受験、大学受験などを控えた時期でもあり、諸事情により自宅等での学習が困難な方のために、連絡先の記入、検温、手指消毒、席が隣り合わないようには間隔をしっかりと空けて配席するなどの感染予防対策を徹底した上で、平日は、午後から、土日は、午前と午後に入れ替え制により、図書館交流プラザりぶら内の貸会議室を学習室として開放しました。平日に、数名から十数名、土日は、二十数名の方が利用されました。

委員 3 新型コロナウイルス感染症対策の中、図書館への利用、促進への御尽力ありがとうございます。

委員 6 書籍消毒機の（追加）設置はとてもよいと思います。

委員 5 今後のために、多くの方が自宅で過ごさざるを得なかった時でも、何か本という媒体を供給できるシステムを考えましょう。例えば、司書の方が選定した「〇〇セット」（例えば、初めて歯が抜けた子のための本セット、自転車に乗りたいたいの本セット、男子厨房に入る本セット）にして、或いはドライブスルー方式でのセット貸出などです。単なる思いつきですが、コロナ禍を教訓として、地域拠点である図書館をアピールしましょう。

委員 8 コロナ対策で、各イベント中止がほとんどでしたが、今後コロナ対策しながら、再開を望みます。乳幼児親子には、本が生活の一部になる環境のお手伝いとして必要だと思います。どこかでやらないと本離れは止められないと心配します。

絵本の選書のお手伝いできるアドバイザーが常務している（ボランティアでなし）システムが、現在あるのかわかりませんが、本と人をつないでいく役目の人がいることも家庭での絵本充実につながるのではないかと思います。

若い人と話すとカフェ図書の話が出ます。飲み物一杯で5時間気楽に本が読めるというのです。

市政だよりは比較的読まれている。図書館からの発信をどんどん載せてほしい。

ジャズの部屋がいつも閉まっていて暗い印象を受ける。図書館は

直接関係ないが、建物がいつも開いていることも大切かと思う。

委員 4 岡崎ビジネスサポートセンターと共催した「がっちり図書館活用術」のような図書を活用して実際に役立っている話などを中学校、や高校で話したり、図書館の講座を開くと若い人達の図書館の活用が広がると思います。

委員 6 新型コロナウイルスの影響で、様々なイベントが中止となり、大変な年であったと思います。令和3年度こそは、社会科作品展、中学の職場体験、教員研修の受け入れ等を行えるとよいなと学校関係者としては思います。

岡崎市や三河地域にちなんだ作家（北川チハル、阿部夏丸）、かこさとし等の特別展や季節行事に合わせた企画展示などを今後もどしどし行っていただけたらと思います。

昔、巡回図書館「あおい号」の来校をわくわくして子供と待っていたのですが、今はクラスごとのコンテナ貸し出しサービスがあるから、これは復活しないのですね。子供と本を選べるのが魅力でした。

図書館 現在、「あおい号」に代わるものとして、小学校等へ図書のセット貸出の配送を行っており、巡回図書館の再度の実施予定はありません。

令和2年度事業 経過報告(令和3年1月31日現在)

重点取組事業

取組事業	内 容(進捗状況)
図書館閲覧席の事前予約制度の導入	開館前に利用者が行列する状況を無くするため、11月下旬の高校の定期試験期間にあわせ、あいち電子申請システムによる事前予約を行った。行列ができることなく、期待通りの効果を得ることができた。今後も高校生の定期試験期間にあわせて実施予定。
生涯学習推進計画策定にあわせ図書館運営方針(案)を作成	9月から10月にかけてアンケートを行い、図書館の運営基本方針を見直し、生涯学習推進計画に図書館に関わる施策内容を盛り込むことができた。パブリックコメントを経て、今年度中に策定予定。
窓口業務委託に係る受託者の選定	今年度で契約期間が終了するため、改めて業務委託を行うにあたって、11月にプロポーザル方式により業者選定を行った。その結果、来年度も現行業者と契約することとなった。
読書通帳利用対象者の拡大	従来は市内在住の中学生以下及び市内在学の小中学生に限っていたが、12月26日からこの制限を撤廃し貸出証を持つ利用者全員に対象を拡大した。ただし、従来の条件に該当する利用者を除き、有料とした。
庁内関係部署や団体との連携事業実施	図書館の認知度高めるため、他部署と連携したテーマ展示等を実施した。(イベント展示で報告)
多様な図書館サービスの周知	子ども図書室に「りんごの棚」(バリアフリー資料コーナー)を10月に開設し、点字付き絵本、録音図書、布の絵本、LLブックなどを集約し利用促進を図った。
自主財源確保のための取組	りぶらサポータークラブと協力して、除籍したりサイクル図書を販売する「リサイクル本バザー」を実施した。(その他図書館事業で報告)
ビジネス支援サービスの推進	岡崎ビジネスサポートセンターと連携し、11月にビジネスセミナー、12月にはビジネス相談会を実施した。それぞれ2月下旬、3月中旬に第2回を開催予定である。また、年度内にビジネスをテーマとしたパスファインダーを作成し、ビジネス支援サービスの一層の充実を図る。

「りんごの棚」とはスウェーデンで生まれた特別なニーズがある子どもたちのためのコーナー

講座事業

事業名	実施時期	講 座 内 容	参加 延人数
【中止】 ストーリーテリングにおいて よ！ボランティア養成講座	5～6月 (3回)	絵本を使わずおはなしを語るストーリーテリングについて、実践する上での基本的な事項について学ぶ。	
【中止】 子ども Wikipedia タウン(仮称)	6～7月 (2回)	小学校の高学年から中学生を対象とした Wikipedia を利用した調べ学習支援	

【中止】ブックスタートボランティア養成講座	11～12月 (全3回)	ブックスタートボランティアとして活動するための基本的な事項について学ぶ。	
読み聞かせボランティア養成講座	11～12月 (全5回)	中央図書館子ども図書室でのおはなし会を行う上で必要となる読み聞かせの基本的な事項について学ぶ。	101人 (定員20人)
【中止】法律セミナー・データベース「D1 - Law . Com」利用講座	2/6	弁護士による法律の解説「これからの相続と遺言のはなし」と、データベース「D1 - Law . Com」の使い方説明会	
【中止】(りぶら講座として) 図書館利用紹介講座	2/5	図書館出前講座をりぶら講座(りぶらサポータークラブ委託事業)の一つとして開催。図書館利用の入門案内	
【中止】(額田センター開催) 図書館利用講座	2/6	検索機の使い方などちょっと便利に使えるコツを紹介	

ビジネス支援事業

事業名	実施時期	講座内容	参加延人数
【オンライン開催】ビジネスセミナー	11/30 2/25	岡崎ビジネスサポートセンターと共催してビジネス関連のセミナーを開催	19人
ビジネス相談会	12/17 3/17	岡崎ビジネスサポートセンターと共催して司書のレファレンスサービス付きビジネス相談会を開催	3組

読み聞かせ

10月新型コロナウイルス感染予防対策を講じて再開

- ・参加者はマスク着用、名前と連絡先を記入してもらう。
 - ・各回の定員は、10名まで(親子5組目安)とする。
- 「岡崎市新型コロナウイルス警戒レベル」が3以上になる場合は中止
開催できた日：10/24,31,11/5のみ

ブックスタート事業

- ・1歳6か月健康診査：令和2年3～5月中止、中央図書館：臨時休館中は中止、額田図書館：4、6月中止、南部市民センター：5月中止
- ・ブックスタート再開後、読み聞かせを省略し簡単な説明と絵本の手渡しのみで実施
- ・緊急事態宣言を受け、1/18～2/7市内図書館・図書室閉館のため図書館でのブックスタート中止(1歳6か月健康診査は中止にならなかったため、ブックスタートも実施)

イベント事業

事業名	実施時期	内 容	参加 延人数
【中止】 子ども読書の日記念イベント	4/18~/26	子ども一日図書館司書体験（2日） ころころくまさんおはなし会「絵本 でスポーツ」、おはなし会「春のおは なし会」、ストーリーテリングにおい でよ！「春のおはなし会」	
【司書体験、おはなし会中止】 子ども図書室夏休みイベント	7、8月	【以下の内容は実施】 第23回「図書館を使った調べる学習 コンクール」入賞作品展 読書チャレンジ期間中（8/1~11/ 9）40冊以上記帳した人に記念品進 呈	読書チ ャレン ジ達成 者146 人
【中止】 図書館まつり	8月	読み聞かせ、パネル展示、ぬいぐる みおとまり会、朗読会、ふるさとか るた、ティーンズビブリオバトル、 図書館クイズラリー等	
【中止】 くすのきしげのり講演会	8/8	正文館書店共催事業	
【中止】 家康公秋祭り	11月	図書館 PR ブース出展	
【中止】 りぶらまつり 2020	11月	図書館バックヤードツアー等	
【おはなし会中止】 子ども図書室クリスマスイベ ント	12/24、25	【以下の内容は実施】 子ども図書室内にスピーカーを設置 し、12/24 にクリスマス朗読イベント 試験実施 クリスマス为主题にしたお楽しみ 袋を各日10セット貸出	
図書館福袋イベント	12/26、27	中身が見えないように本を包み、貸 出す（各日：一般用75袋、中高生用 10袋、子ども用30袋） 額田図書館でも実施（各日：一般 10袋、子ども5袋）	
【4、5、6、8、1月中止】 シネマ・ド・りぶら開催支援	(年9回程)	図書館所蔵資料を活用した映画上映 と関連資料の展示 りぶらサポータークラブとの共催 事業	10月 11月 12月
ティーンズビブリオバトル	3/14 (予定)	市内高校と連携し、ティーンズビブ リオバトル開催	

イベント展示

事業名	実施時期	内 容
庁内連携展示 「東海豪雨と8月末豪雨」 (防災課、下水工事課、市消防本部総務課)	8/1 ~ 9/25	東海豪雨から20年、東海豪雨や平成20年8月末豪雨の当時の被害状況写真やパネル、関連する所蔵資料を展示紹介。併せてレッドサラマンダーの2017年九州北部豪雨救援活動も紹介
庁内連携展示 「オカザえもんの国内芸術祭2020」 (文化振興課主催事業)	10/24 ~ 11/8	会期中りぶら総合案内前にストリートピアノ設置。2階ポピュラーライブラリー内ガラス壁面にアートワークショップ制作作品を展示。ポピュラーライブラリーで図書館職員おすすめのアートな本をポップ付で紹介、子ども図書室でも関連本展示
庁内連携展示 「mini ラリーミュージアム in Libra」 (スポーツ振興課主催事業)	11/13~23	りぶら周辺で開催した「ラリージャパン1年前イベント」と連携。主催課で作成したパネル、過去のラリー関連資料、車やモータースポーツに関する図書を紹介展示
庁内連携展示 「東日本大震災から10年」 (人事課、防災課、消防本部総務課)	2/16 ~ 3/10 (予定)	東日本大震災当時の現地の写真、被災地に派遣された職員のインタビュー記事、関連図書の展示
図書館マナーアップキャンペーン	3月 (予定)	図書館利用者のモラルの向上を図る目的で、汚損や破損により廃棄本となった図書を館内で展示

岡崎むかし館管理運営事業

事業名	実施時期	内 容	参加 延人数
【中止】 夏休み子どもイベント「むかし館クイズラリー」と社会科自由研究相談	7月	昔のくらしや昔の岡崎に関するクイズラリーと社会科教諭による社会科自由研究の相談会	
【中止】 社会科研究作品展	9/26~ 10/6	夏休み社会科自由研究優秀作品の展示	
【4、8、12、1月中止】 むかし館季節の読み聞かせ	年5回	図書館職員による絵本等の読み聞かせ 「岡崎市新型コロナウイルス警戒レベル」が3以上の場合は中止。	【10月】 30人
【中止】 むかし館イキイキ講座	月1回 第3金曜	図書館職員と参加者による音読会	
【4~1月中止】 体験講座「触れてみよう、遊んでみよう、むかしの道具」	月1回 第3日曜	けん玉、お手玉など、懐かしい遊びに挑戦。「岡崎市新型コロナウイルス警戒レベル」が3以上の場合は中止。	
【今年度中止】 むかし館で楽しむ「むかしばなし・紙芝居」	月1回 第4木曜	「岡崎むかし語りの会」によるむかしばなしと紙芝居	

むかし館見学	随時	小学生のむかし館見学	
むかし館企画展示	年4回	「むかし館のひな飾り」(2月8日～)	
企画展記念イベント「鉄道模型走行会」	7/11、12	企画展協力団体による鉄道模型の走行見学会	476人

その他図書館事業

事業名	実施時期	内 容
図書館見学	随時	3件(17人)
図書館実習	8/25～30	司書講習における図書館実習生受入(2名)
蔵書点検	1/25～30	特別整理期間中に中央図書館資料の蔵書点検の実施
地域図書室の蔵書点検	実施済	年3か所程度実施 (令和2年3月の臨時休館中に 額田、南部、矢作、中央を前倒して実施)
リサイクル本バザー	月1回 第3火曜 (9月から 定期開催)	図書館の除籍資料を有効活用するため、リサイクル本を1冊50円でりぶらサポータークラブが販売し、収益で大活字本を購入して図書館へ寄贈する取組み。 りぶらサポータークラブとの市民協働事業 7月 261冊 / 13,450円 9月 135冊 / 6,750円 10月 151冊、4冊 / 7,590円 234冊 / 1,1700円 11月 211冊 / 10,550円 12月 106冊 / 5,300円 1月中止

中学生職場体験、教員研修は自粛のため依頼なし

第3次岡崎市生涯学習推進計画について

- 1 第3次岡崎市生涯学習推進計画について

計画の期間 令和3年度から令和12年度(10年間)

基本理念「だれもが学び いきがいを持てる 生涯活躍のまち 岡崎」
(令和2年12月送付の計画案を御参照ください。作業スケジュールは資料(2)-2になります。)

パブリックコメント 2月8日に終了。

パブリックコメントの提出が2件あり、その中で図書館に関する意見はありませんでした。

パブリックコメントを計画に反映した後、3月中旬の第3回岡崎市生涯学習推進委員会を経て、完了となる予定です。

第3次岡崎市生涯学習推進計画が完成後、送付します。

- 2 第3次岡崎市生涯学習推進計画における図書館に関する施策

図書館に関する施策を4つの方針のもとに掲げています。

(別掲) 図書館に関する施策一覧	1	生涯学習を支援する 図書館サービスの充実	①レファレンスサービス(調べものの支援)の充実 ②児童サービスの充実 ③多様な利用者に対応したサービスの充実 ④バリアフリーサービスの充実 ⑤多文化共生社会に対応した多文化サービス ⑥電子図書館の推進 ⑦市民の交流の場としての役割の拡充 ⑧快適な図書館生活を通じた賑わいづくり
	2	情報拠点機能の充実	①ICTの活用による図書館サービスの向上 ②情報格差の解消 ③ビジネス支援・就職支援 ④行政情報等暮らしの課題解決に必要な情報の提供
	3	地域の文化創造	①ふるさとの情報収集・保存・提供 ②地域文化の創造の場としての機能の充実 ③図書館ボランティア等とのパートナーシップ
	4	質の高い図書館運営	①中枢としての中央図書館の機能強化 ②図書館分館、地域図書室の機能強化 ③専門スタッフの確保及び育成

(第3次岡崎市生涯学習推進計画 p.22 から)

図中の赤枠は第3次岡崎市生涯学習推進計画における図書館施策の内、特に力を入れて取り組む施策

(各施策は第3次岡崎市生涯学習推進計画案 p.35～p.39 に掲載)

【重点施策について】

読書バリアフリー法及び国の読書バリアフリー基本計画策定を受け、バリアフリーサービスを更に充実させ、障がいのある方だけでなく、来館が困難な場合でも利用可能な電子図書館の導入に向けての検討を進めていきます。

また、市内のどこでも図書館サービスを利用できるようにするため、地域図書室の機能強化が必要です。

これらの推進に向け、図書館サービスの中核としての中央図書館の機能を強化し、市内の図書館サービス全体の総合的な管理、連携、調整を行っていきます。

バリアフリーサービスの充実

普通の活字が読みづらくなったり、心身にハンディキャップを抱えている方などへ、図書館利用の楽しみを知ってもらい、利用しやすい図書館となるように、点字図書や録音図書(カセットテープ、デイジー)、布の絵本、拡大読書席、車椅子席、対面朗読室などのサービスを充実します。

電子図書館の推進

従来の紙による書籍ではなく、デジタルデータで作成される出版物である電子書籍をインターネット経由で紙の書籍と同じように、検索、貸出、閲覧できる「電子書籍貸出サービス」を行う電子図書館の実施を進めます。

中核としての中央図書館の機能強化

中央図書館は、市内の図書館サービスの中核機関として、「収集」「保存」「利用」のあらゆる面で高いレベルを備え、市内の分館や地域図書室などの市内図書館サービス全体の総合的な管理、連携、調整、市外の図書館との連携を図ります。

図書館分館、地域図書室の機能強化

図書館が市民の暮らしに身近な場所となるように、市内の分館、地域図書室のサービスの充実を図ります。

国が示す「図書館の役割として求められている地域の課題解決支援」に寄与することができるように、図書館業務専任スタッフ、資料の充実など機能を強化します。

3 市民意識調査

「第3次岡崎市生涯学習推進計画」策定にあたり、生涯学習活動の状況を把握し、課題、要望等を把握するため、アンケート調査を実施しました。回答者属性と図書館に関する結果のうち、主に計画案に掲載されていない設問の回答の傾向をまとめました。

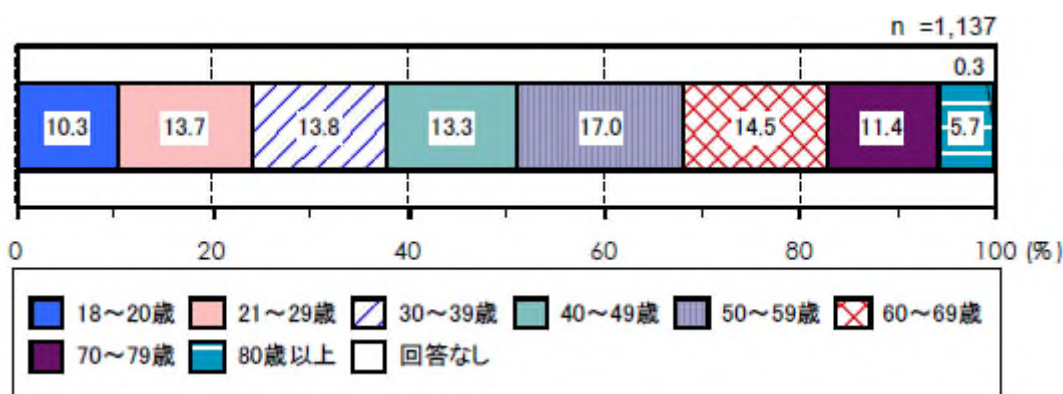
【回答者属性】

【性別】

男性：43.1% 女性：56.4% 回答なし：0.5%（総数：1,137）

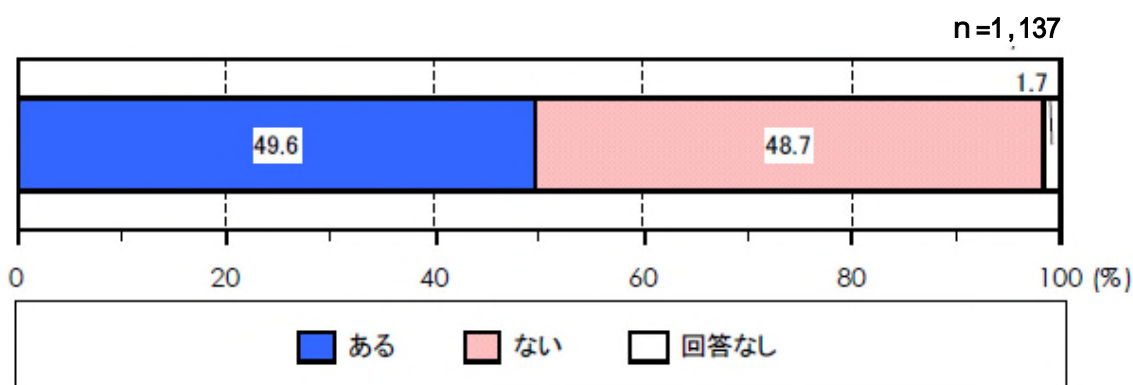
【年代】

10代：10.3% 20代：13.7% 30代：13.8% 40代：13.3% 50代：17.0% 60代：14.5% 70代：11.4% 80代：5.7% 回答なし：0.3%（総数：1,137）



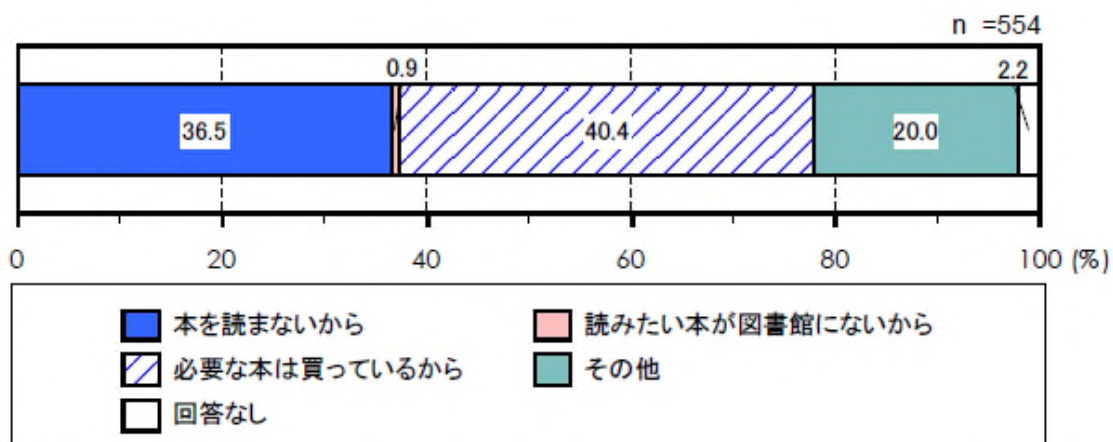
【図書館に関すること】

問21 中央図書館の利用について



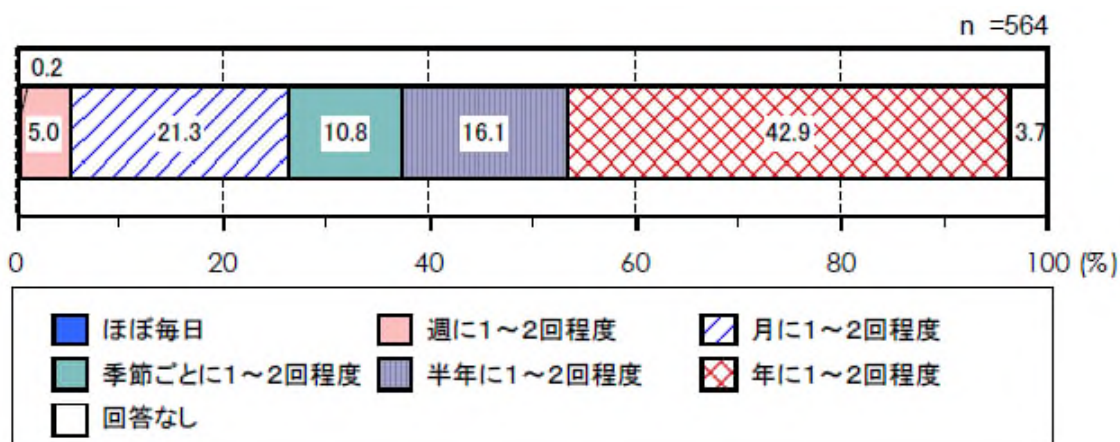
回答者の過去10年間の中央図書館の利用有無について質問したところ、あるが「49.6%」と、「ない(48.7%)」を若干上回った。

問 22 中央図書館を利用しない理由について



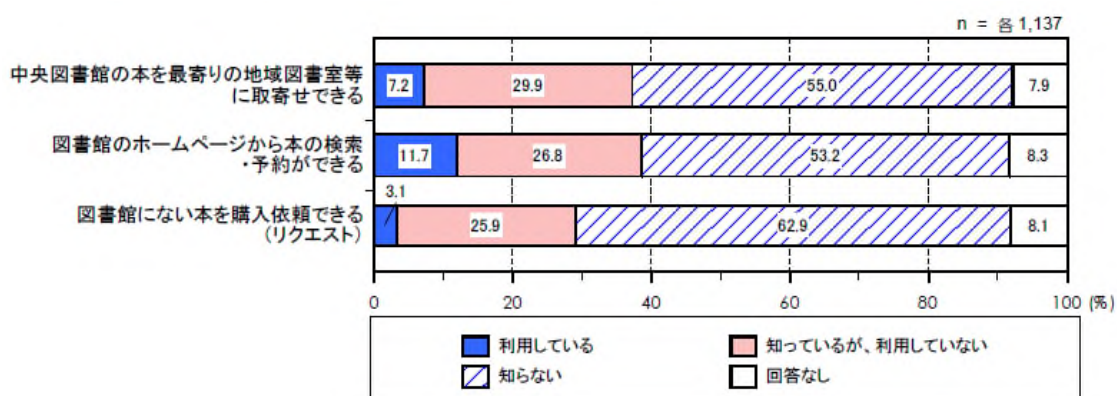
中央図書館を利用しない理由について質問したところ、「必要な本は買っているから」が40.4%と最も多く、次いで「本を読まないから」が36.5%となっている。「その他」の20%の自由記述は、遠い、時間がない、きっかけがないという理由が見受けられる。

問 25 中央図書館の利用頻度について



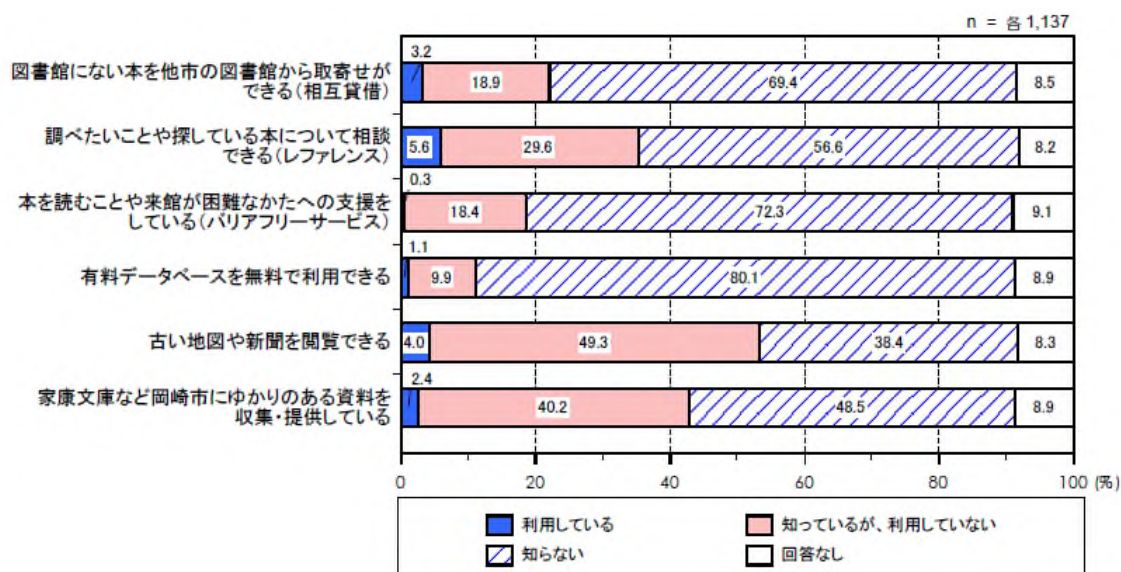
過去1年間における利用頻度について、質問したところ、「年に1~2回程度」が42.9%と最も多い。

問 26 図書館のサービス全般について



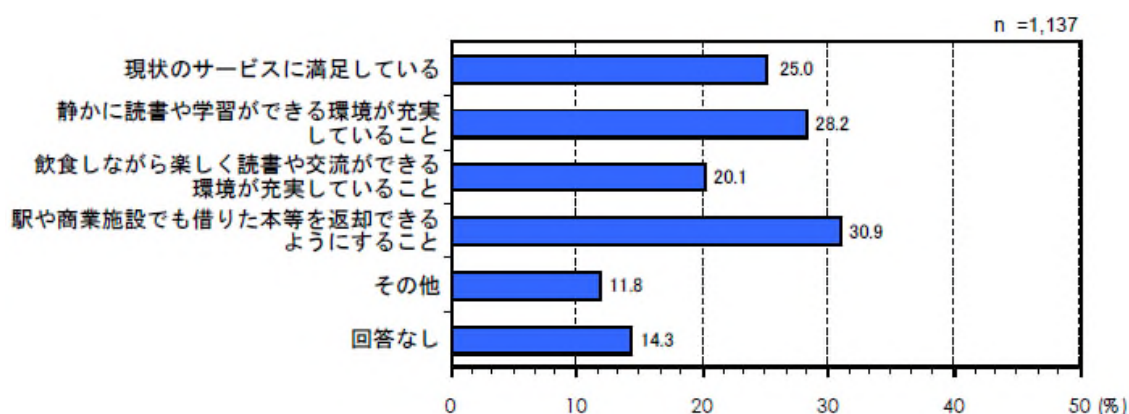
図書館のサービス全般について、サービスの認知度、利用頻度等について質問したところ、3項目とも「知らない」が一番多く、いずれも50%を超えている。また、3項目いずれも「知っているが、利用していない」と「知らない」をあわせて80%以上となっており、利用が少ないことが読み取れる。

問 27 中央図書館限定のサービスについて



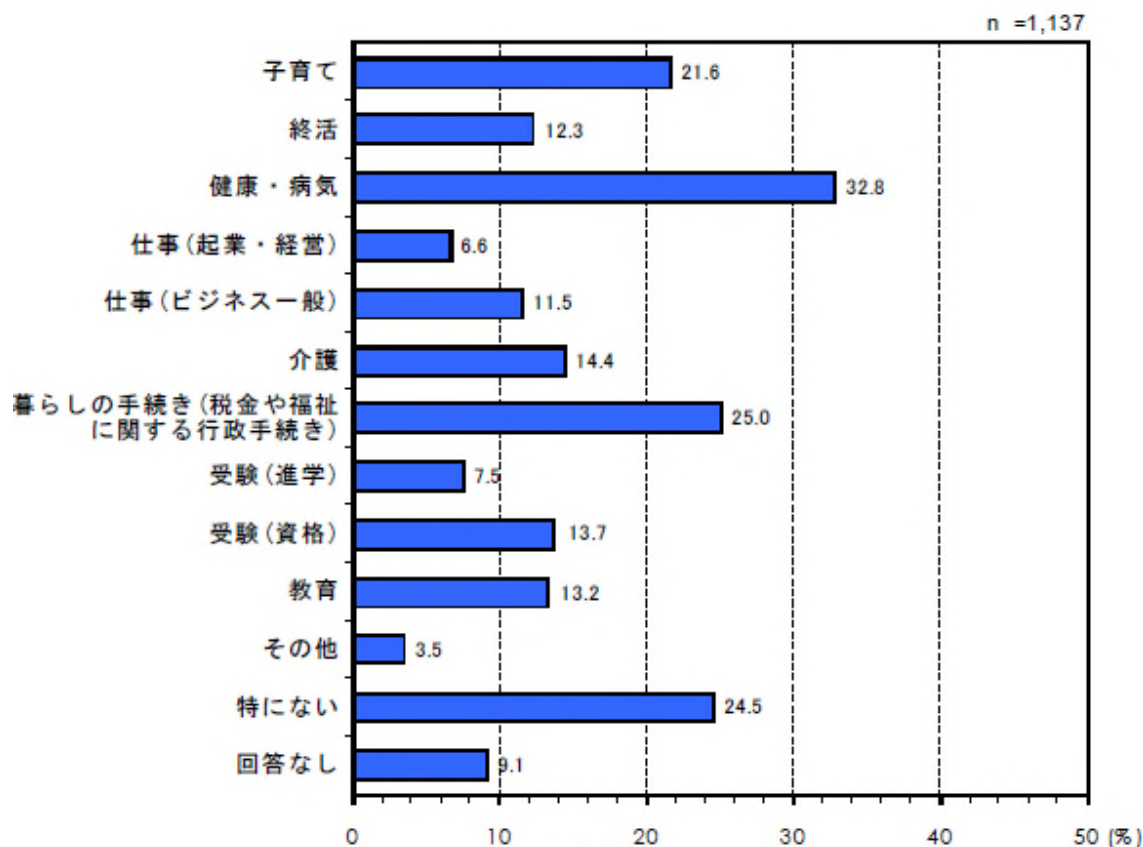
中央図書館のみで行っている6項目のサービスの認知度・利用状況について質問したところ、「古い地図や新聞を閲覧できる」を除き、「知らない」が一番多かった。また、6項目いずれも「知っているが、利用していない」と「知らない」をあわせて80%以上となっており、利用が少ないことが読み取れる。

問 28 中央図書館のサービスについて



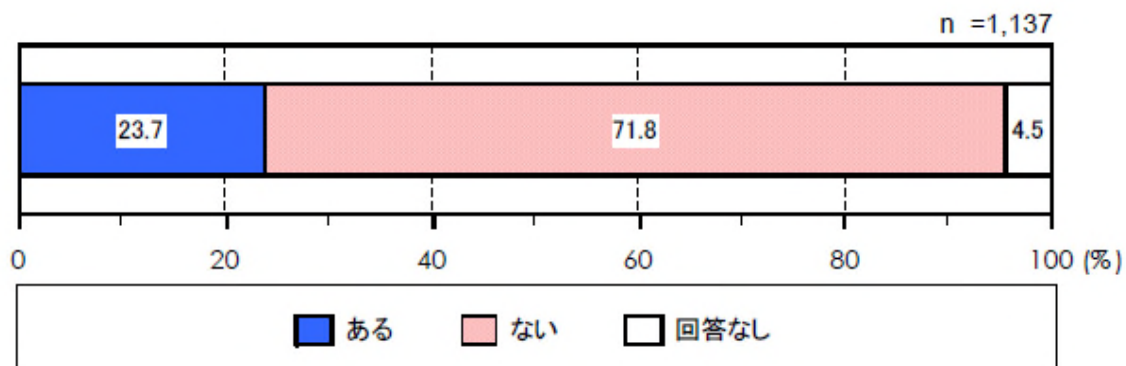
今後充実してほしい、または今後期待するサービスは何か(2つまで回答可)質問したところ、「駅や商業施設でも借りた本等を返却できるようにすること」が30.9%と最も多くなっており、次いで「静かに読書や学習できる環境が充実していること」が28.2%となっている。3番目に多いのが「現状のサービスの満足している」で、25.0%となっている。

問29 暮らしのサポート（課題解決支援）について



充実していると良いと考える本の分野について質問(最大3つまで)したところ、「健康・病気」が32.8%と最も多く、次いで「暮らしの手続き(税金や福祉に関する行政手続き)」が25%となっている。3番目に多いのが「特にない」で、24.5%となっている。4番目に多いのが、「子育て」で21.6%となっており、この4つが20%を超えた。

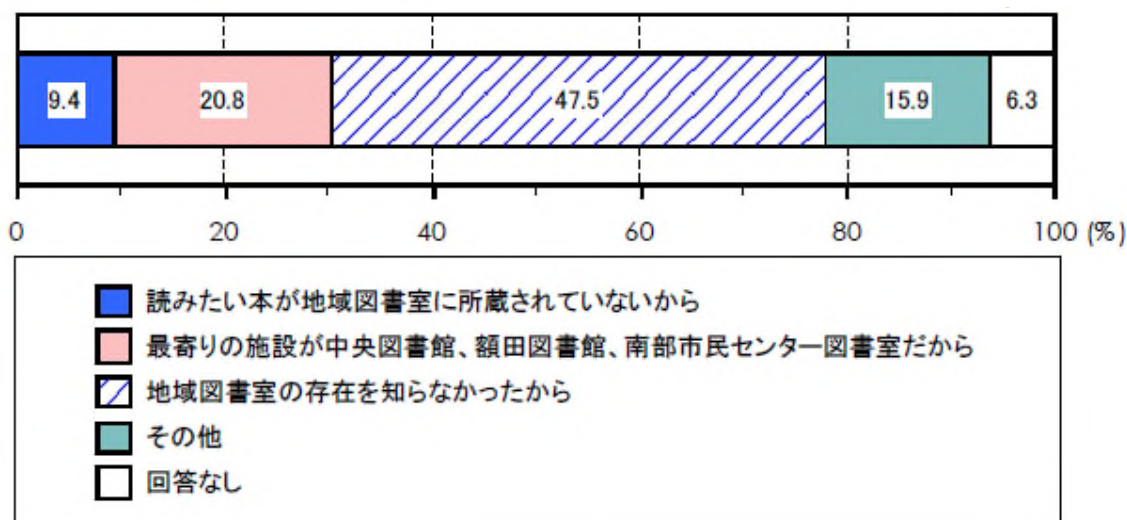
問 30 各市民センターにある地域図書室（南部市民センターを除く）を利用したことがありますか。



他の地域図書室と比較し、規模が大きい南部市民センターを除く地域図書室の利用の有無について質問したところ、「ない」が71.8%であった。

問 31 地域図書室を利用しない理由について

n = 816



地域図書室を利用しない理由について質問したところ、「地域図書室の存在を知らなかった」が最も多く、47.5%であった。また、「問 22 中央図書館を利用しない理由について」では、「読みたい本が図書館にないから」を選択した人は0.9%とごくわずかであったにも関わらず、本設問では「読みたい本が地域図書室に所蔵されていないから」を選択した人は9.4%と10倍以上の差がみられた。

【アンケート結果から】

・中央図書館を利用しない理由として、「必要な本は買っているから」と「本を読まないから」という理由が回答者の 3/4 以上の割合があった。その他の理由として、近くに図書館がない、仕事等で忙しくて図書館へ行く時間がなく利用していない、きっかけがなく利用していない方々がいる。このような潜在的なニーズに対応した図書館に出向かなくても利用できるサービス、読書に興味を持つことのできるサービスの充実を図る。

・図書館のサービス全般の認知度・利用状況と中央図書館限定のサービスの認知度・利用状況の結果から、図書館が提供しているサービス自体があまり知られていないことがわかる。

・中央図書館の今後充実してほしい、または今後期待するサービスの結果から、「駅や商業施設でも借りた本等を返却できるようにすること」が回答の中で最も多く、また「飲食しながらの読書や交流ができる環境の充実」よりも「静かに読書や学習ができる環境が充実していること」を求める割合の方が多かった。

・地域図書室(南部除く)利用の有無で地域図書室を利用しない理由の結果から、回答者の7割以上が地域図書室を利用しておらず、地域図書室を利用しないのは、「地域図書室の存在を認知していない」という理由が最も多く、地域図書室よりも最寄りの中央図書館、額田図書館、南部市民センター図書室を利用していることがわかる。

第3次岡崎市生涯学習推進計画 作業スケジュール【2020.12～2021.3】

	12月		1月		2月		3月	
	10	20	10	20	10	20	10	20
推進委員会関係	12月14日 第2回推進委員会						3月中旬 第3回推進委員会	
作業関係			・素案の修正		・計画案の作成		・計画案の とりまとめ	
パブリックコメント 関係			パブリックコメントの 実施		パブリックコメ ントの計画への 反映			

議題(3) その他報告事項

1 臨時休館（新型コロナウイルス感染拡大防止）

(1) 休館期間：1月18日（月）～2月7日（日）

愛知県に対する緊急事態宣言発令を受け、緊急事態措置を講じたこととなった。これを受け、徹底的に感染を抑え込むために、市の方針として岡崎市内の全ての公共施設は原則休館することとなり、中央図書館、額田図書館、市民センター図書室、げんき館情報ライブラリーを休館とした。

(2) 臨時休館中の図書館サービス

ア 予約済み資料の臨時受取窓口の開設

- ・中央図書館2階お城通り（水曜日を除く）
- ・額田図書館（火曜日～金曜日）
- ・南部市民センター図書室（月曜日を除く）

受付時間はいずれも午前9時から午後5時まで

イ メール・電話による調べもの相談（レファレンス）

ウ 郵送複写サービス

(3) 受験生等に対する学習の場の提供について

諸事情により学習することができる場所を必要とする受験生等に対して、図書館交流プラザ3階会議室を学習室として開放した。

提供時間は平日13時～17時、土・日9時～12時、13時～17時

（1/18（月）～1/31（日）までの延べ利用人数：241人）

2 新型コロナウイルス感染拡大防止追加対策（議事資料（3）-2参照）

(1) 書籍消毒機の追加設置

中央図書館お城通りに1台設置

(2) 閲覧席に飛沫防止用の仕切板設置

中央図書館1F、2Fの閲覧席（358席を対象に）

南部市民センター図書室の閲覧席（新聞台2個、閲覧テーブル2個）

3 読書通帳の利用者の拡大

別添チラシ参照

4 寄附について

家康文庫資料充実及び徳川家康公作文コンクール充実のため、タニザワフーズ株式会社様から10万円相当の図書資料（35タイトル39冊）の寄附受納（平成21年度以降、12回目）

読書通帳が どなたでも使えるようになります！

令和2年12月26日(土)午後1時から、図書貸出証をお持ちのかたは、どなたでも読書通帳が発行できるようになります。ただし、一部のかたを除いて、発行時に1冊300円の発行費用が発生します。



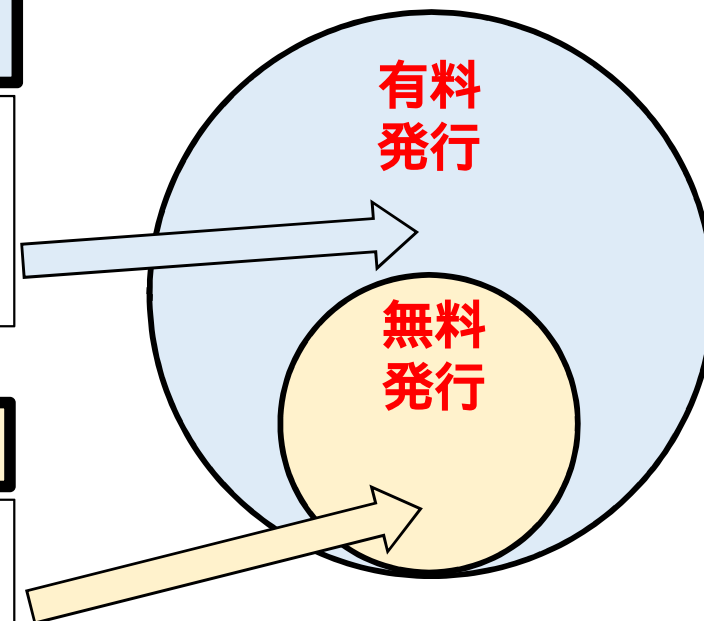
New !!

これから読書通帳が発行できるようになるかた

対象者 : 対象者 に該当しないかた
 受付場所 : 中央図書館2階ポピュラーライブラリーカウンター
 発行費用 : 有料(1冊300円)
 (領収書は、ご希望のかたにのみ発行します)

引き続き無料で読書通帳が発行できるかた

対象者 : 申請日現在で市内在住の中学生以下のかた、並びに、市内在学の小学生及び中学生
 受付場所 : 中央図書館2階子ども図書室カウンター
 発行費用 : 無料



「有料発行」の申請受付時間は17時までです。

詳しくは発行時にお渡しする資料をご確認ください。

中央図書館 書籍消毒器 1 台追加設置 (右側)



中央図書館 1 階、2 階の閲覧席 飛沫防止用仕切り板設置

